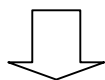


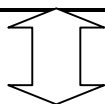
## 1. 研究内容構成

### 【テーマ設定の理由】

- 平成21年度に発生した新型インフルエンザがもたらした影響
- 「感染症」が学校にもたらす影響
- 今後、懸念される強毒性の新型インフルエンザ発生時には・・・。



【研究テーマ】 「生涯を通じて主体的に健康管理ができる生徒の育成」  
～学校感染症への取り組みを通して～



### 【研究仮説】

- 「健康観察」の充実 健康観察の意義や必要性を十分に教職員が認識し、共通理解を図ることで感染症への早期発見・早期対応に結びつけることができる。
- 「保健指導」の充実 生徒保健委員会を活用し、その活動を支援していくことで生徒自らが感染症予防のための知識を得ることと実践に結びつけることができる。
- 「組織連携」の充実 大村工業版の「感染症管理マニュアル（行動計画）」を策定することで、校内・家庭・地域との連携を図ることができる。

## 2. これまでの取り組みの成果と課題

### (1) 保健管理

#### ①対人管理

- 健康観察について
  - ・朝の SHR で担任が実施
  - ・「新 健康観察表」作成

#### ②対物管理

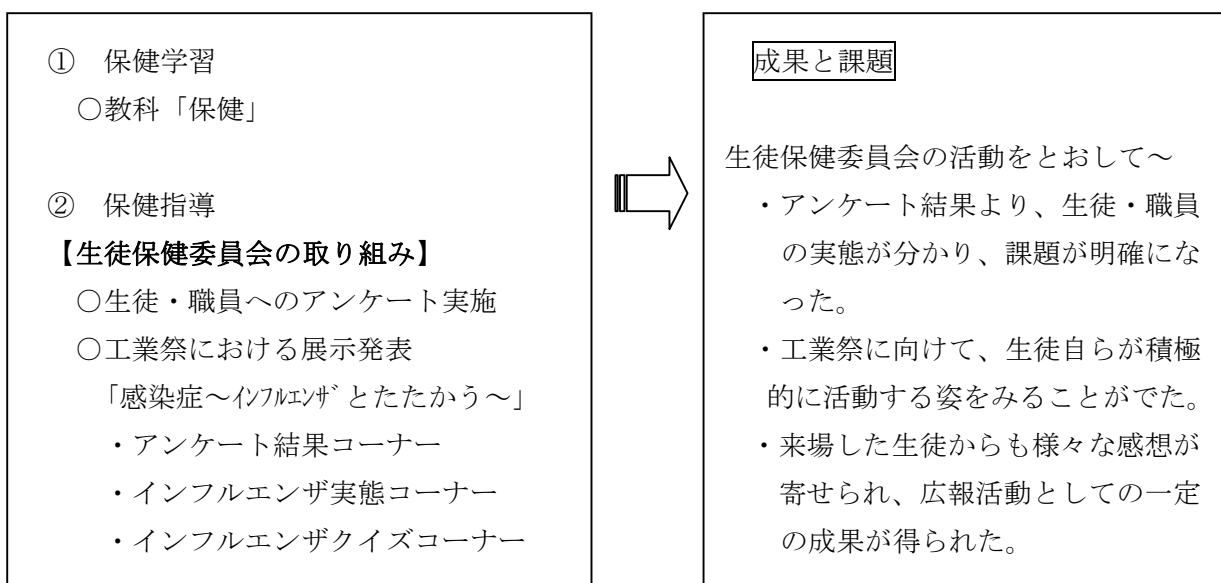
- 予防のための施設現状把握
  - ・手洗い場について



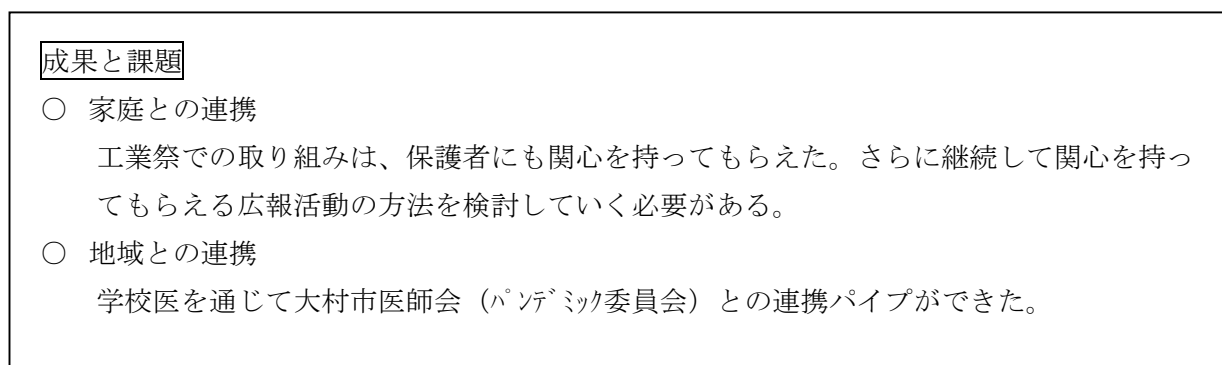
### 成果と課題

- ・朝の SHR での教師による「健康観察」は、ほぼ定着している。
- ・担任不在時の対応、健康観察の意義については、全職員のさらなる共通理解が必要である。
- ・予防のためのハード面の整備が必要である。

## (2) 保健教育



## (3) 組織連携



## 3. 今後の課題と取り組み

### (1) 保健管理

- ・職員研修の実施
- ・情報のフィードバック
- ・手洗い場の増設
- ・マスクについて

### (2) 保健教育

- ・知識普及の手段として、クラスを単位とした LHR での保健指導の実施

### (3) 組織連携

- ・家庭との連携 広報活動：ホームページ・メールメイトの活用

大村工業版「感染症管理マニュアル（行動計画）」

- ・地域との連携 情報収集：「学校医・大村市パンデミック委員会・県央保健所」との連携